



平成26年の新年を迎えるにあたって

春日井市民病院 院長 渡邊 有三

今年は政府が決める診療報酬改定の年にあたります。職員の疲弊と病院経営の悪化により閉鎖される自治体病院の話題が数年前にはマスコミでよく取り上げられました。当院も厳しい経営環境にありましたが、地域医療再生計画構想の下、平成21年から5か年計画を立て、職員一丸となって経営改善に邁進してきました。この5年間にDPC対象病院、災害拠点病院、DMAT指定医療機関、県指定がん拠点病院、地域医療支援病院という称号を新たに認定されるとともに、7対1看護体制も取得することができ、念願の黒字化も達成できました。当院が急性期病院として地域住民の要望に応え続けるためには、どうしても必要な資格であり、長らく当院の外来におかかりになっておられた方々には、地域のかかりつけ医への紹介を勧めるなど、ご不便をおかけしたことを、紙面を借りてお詫び申し上げます。「病院が黒字化してどうなのだ」と不審に思われる方もおられるかもしれませんが、医療技術は日進月歩で進んでおり、医療機器も新しいものが次々と開発されています。医療に対する皆様の要望に応えるには、先進的な医療機器の購入を進める必要があります。そのためにも、経営状況は良い状況にしておく必要があるのです。今年は、放射線治療機器として当地区では初めてトモセラピーを導入しました。病巣に集中的に放射線をあて、周囲の健全な組織への障がいを軽減する最新鋭の放射線機器です。ところが、このような診療機器の購入に対し、病院は消費税を払っています。しかし、皆様に払っていただく医療費には消費税はかかっていません。5%の消費税が8%に増加することは、当院の経営状況にも大きな悪影響をきたすことは間違いありません。診療報酬改定で、その点への配慮が行われることを切に望むばかりです。

さて、当院の隣地に春日井市総合保健医療センターが新設されます。当院もこれを契機に救急医療部門・糖尿病センター・脳卒中センターなどの拡充を図ります。救急部には6床の入院ベッドを新設し、緊急の医療要請に応えたいと思っています。また、柏原町にあります休日・夜間急病診療所は、今年6月から当地に移転します。当院の救急車搬送台数は全国8位にもなっていて、救急医療はまさに疲弊状態にあります。当院の救急を疲弊させないために、春日井市医師会の先生方が比較的軽症の患者さんの初期対応を手助けしてくださるものです。当地区の救急医療を守っていくためにも、皆様の適切な受診とご協力をお願いします。

Contents

- 平成26年の新年を迎えるにあたって
- 市民病院の救急部が移設、拡充します！
- 診察室がかわります！
- 市民公開講座
- フォトスケッチ：小児科病棟のクリスマス会



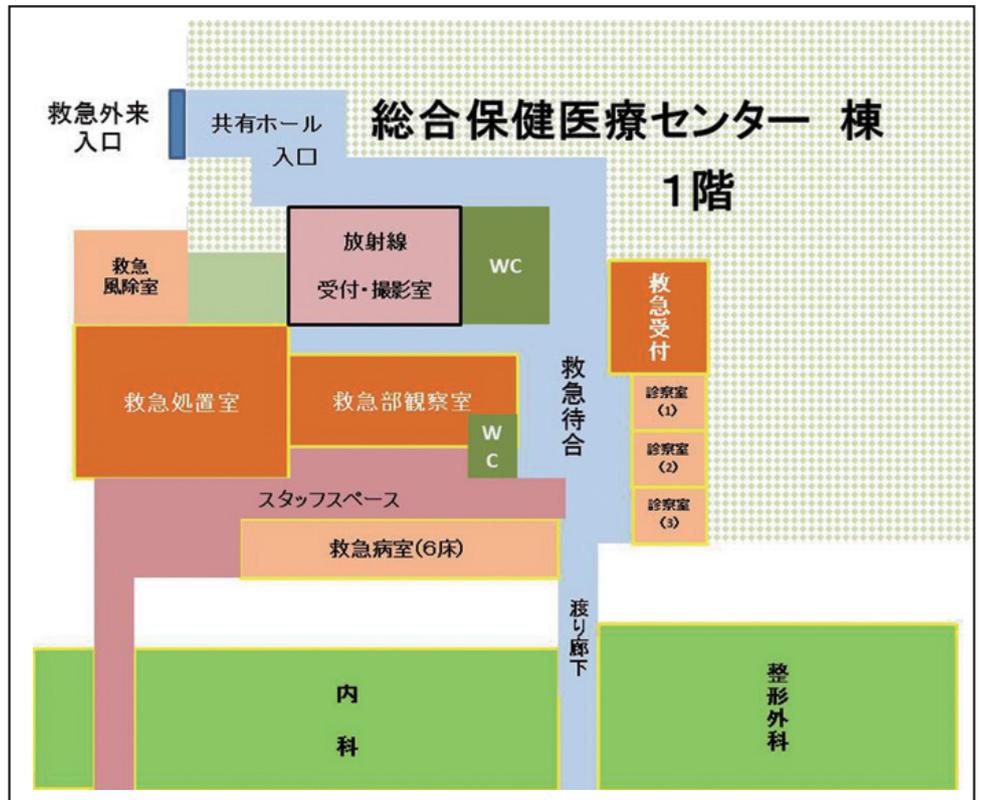
市民病院の救急部が移設、拡充します！

市民病院の救急部は、2月18日(火)に隣接する春日井市総合保健医療センターの1階に移設します。

総合保健医療センターは、市民の総合的な健康づくりの施設として、また休日・平日夜間の急病診療施設として整備されます。軽症の患者さんから検査、手術、入院等専門的な治療の必要な中等症の患者さんまで、「休日・夜間急病診療所」と「市民病院救急部」がそれぞれの機能と特色を生かし、患者さんの容態にあわせ、連携して対応することにより、春日井市の救急医療体制の更なる充実を図ることができます。

移設される救急部は、従来の約3倍の面積となっており、施設内には、診察室3室をはじめ、専用のX線・CT装置を設置し、さらに救急病室6床を備え、二次救急医療機関として機能の拡充を図ります。

市民病院は、今後も地域医療機関の協力のもと、機能分担を進め、患者さんにとって、安全・安心な救急医療を提供できるように職員一丸となって研鑽してまいります。



診察室がかわります！

総合保健医療センターの整備に伴い、神経内科と脳神経外科の診察室がかわります。

ご面倒をお掛けいたしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

< 移設する科 >

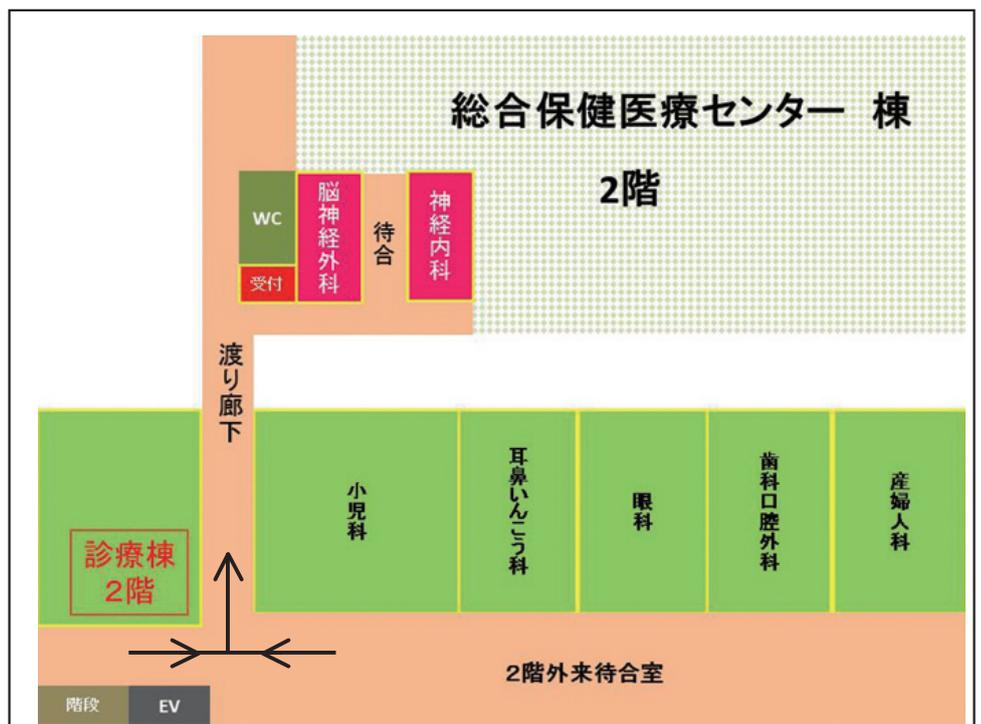
- 1階 脳神経外科
- 2階 神経内科

< 場所 >

総合保健医療センター 2階へ

< 診察室開始 >

1月14日(火)より



市 民

公 開 講 座

多数のご参加ありがとうございました！

第35回市民公開講座(平成25年11月2日開催)

テーマ「糖尿病を知ろう！」

講演1：「糖尿病の現状と治療について」

医務局長 佐々木 洋光

講演2：「糖尿病の予防について」

糖尿病センター長 松田 淳一

11月14日は世界保健機構(WHO)が定める「世界糖尿病デー」です。当院では11月2日に、糖尿病を広く地域の皆さんに知っていただくため、市民公開講座を開催しました。

また、糖尿病のシンボルカラーが青色であることから、11月1日から15日にかけて敷地内の庭園灯の照明を青くしたり、糖尿病診療に関わるスタッフがブルーリボンを付けました。

当院は糖尿病の診療を積極的に行っています。

医師と様々な職種の職員が連携してこの治療にあたっていますので、お気軽にご相談ください。



第36回市民公開講座(平成25年12月7日開催)

テーマ「消化器がんの話とクリスマスコンサート」

講演1：「がんの克服を乗り越えて」

NPO法人ミーネット

渡辺 茂樹さん

講演2：「ここまで進んだ早期消化管がん(胃・食道・大腸)の診断・治療」

消化器科第三部長

平田 慶和

講演3：「がんの腹腔鏡手術治療について」

日帰り手術センター長

渡邊 真哉

コンサート：「ゴスペルコンサート」

春日井ゴスペルクワイア

12月7日、東部市民センターにおいて「消化器がん」をテーマに市民公開講座を開催しました。

早期がんでは低侵襲のがん治療が行えることを消化器科医師と外科医師が講演し、さらに実際に胃がんを克服された方に体験談をお話いただきました。早期にがんを発見することは、その後の治療と関係します。定期的に検診をうけ、早期に異常を見つけることをお勧めいたします。



次 回 の 公 開 講 座

日時：平成26年2月15日(土) 午後2時～午後4時

場所：レディヤンかすがい (春日井市鳥居松町2-247)

はあとふるライナー：西環状線左まわり及び右まわり「鳥居松2丁目」下車、徒歩1分

名鉄バス：春日井線「春日井高校前」又は「鳥居松2丁目」下車、徒歩1分

テーマ「市民病院の紹介とギターコンサート」

講演「もの忘れと認知症について」 神経内科部長 寺尾 心一

「退院支援サービスの紹介」 医療連携室長補佐 白澤 恵

「クラシックギターコンサート」 出演グループ Green Notes

* 詳細は春日井市民病院ホームページをご覧ください。

フォトスケッチ

小児科病棟のクリスマス会です。

マザーさんの絵本朗読、松原中学校生徒によるハンドベル演奏、医師の手品とバイオリン演奏、バルーンアートと盛りだくさんのプログラムでした。道風くんも飛び入り参加し、子供たちも大喜びでした。

